

金栗四三ミュージアム

1月13日、
ミュージアムが閉館。
たくさんの皆様のご来場、ありがとうございました。



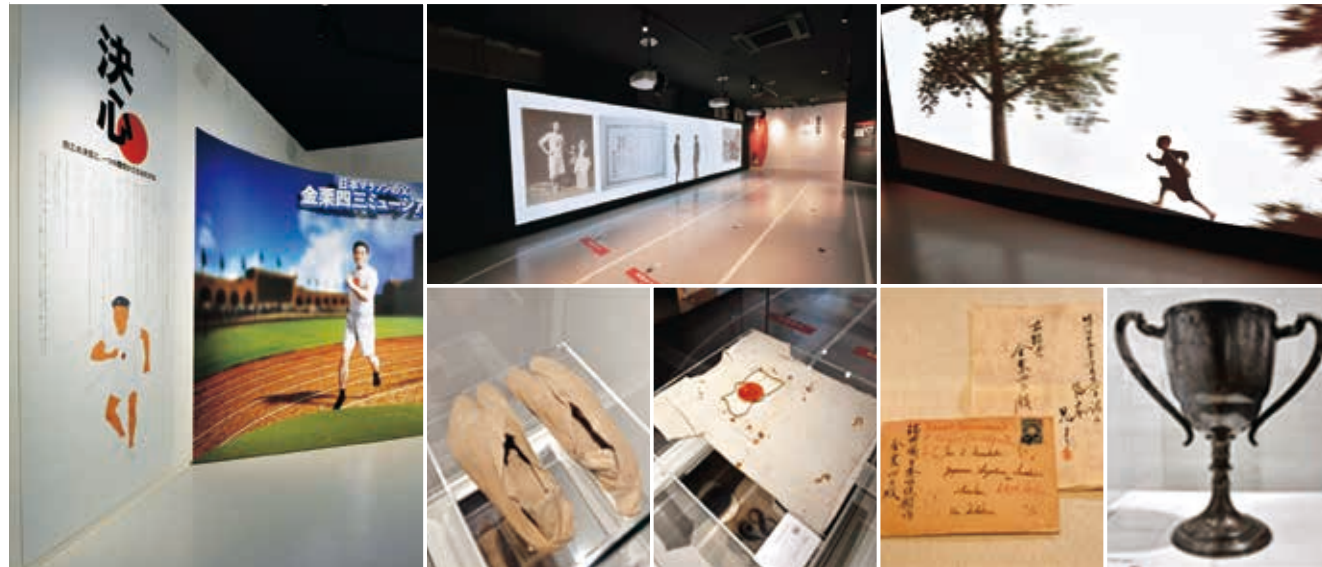
「なごみん」などのキャラクターたちが集結。閉館イベントは、来場者のお出迎えからスタートしました。ラジオの出張生放送、ふるさと交流センターの大浴場の無料開放、雑煮や大豆コーヒーの販売などがあり、来場者は一日楽しく過ごしていました。

閉館日の来館者は、過去最高の1445人。総来館者数は、91184人となりました。

ミュージアムを開館したことで、金栗四三さんの生涯や功績を生誕の地「和水町」から全国に発信することができました。

これからも金栗四三さんの功績を日本全国に届け、本町の遺産として大切に活用し、さらなる町の発展・活性化につなげていきたいと考えています。

1月 ミュージアム開館



11月 野口みずきさんが来館



8月 宮藤官九郎さんが来館



2月 中村勘九郎さんが来館



令和2年1月 閉館



9月 筑波大学陸上部が来館



7月 ランニングイベント開催



9万人目のミュージアムの来館者となったのは、熊本市からお越しの床里香さん一家。北川館長が、丸美屋の特産品の詰め合わせを贈呈しました。



金栗四三生家記念館

開館期間 令和3年3月31日(水)まで
開館時間 午前9時～午後5時
(最終入館 午後4時30分)
場 所 和水町中林546番地
観 覧 料 個人
高校生以上300円、小中学生200円
団体(20人以上)
高校生以上200円、小中学生100円

※無料駐車場完備

☎ 社会教育課 ☎0968・34・3047



安堂伸一さんご夫婦

8万43人を突破 金栗四三生家記念館

1月24日、来場者が8万43人(四三)を突破しました。8万43人目は、夫婦で旅行途中に立ち寄ったという東京都江東区からお越しの安堂伸一さん(53)。

安堂さんは、「ランニングが趣味で毎年フルマラソンも走っています。大河ドラマいだてんを毎週欠かさずに楽しく見ていました。造り酒屋で四三さんが古くから住まっていたのがすごいと思いました。車を降りた瞬間、和水町の空気の良さに感激しました」と話しました。

記念品として和水産の特産品セット(みかん、野菜、お米)などを贈呈しました。